

令和5年度 第1回兵庫県スポーツ推進審議会

と き：令和5年10月25日（水）10：00～11：30
と ころ：兵庫県民会館 7 F 「鶴」

1 開会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 会長の選出

5 署名委員の指名

6 報告事項

(1) 令和4年度第2回スポーツ推進審議会の議事録の報告（5頁）

(2) 第2期兵庫県スポーツ推進計画 令和5年度実施計画について（11頁）

(3) 令和5年度の主要事業について

・スポーツ振興課（14頁）

・体育保健課（17頁）

・ユニバーサル推進課（19頁）

(4) 令和5年度スポーツ振興団体に交付する補助金の状況について（23頁）

(5) HYOGO スポーツ新展開検討委員会について（27頁）

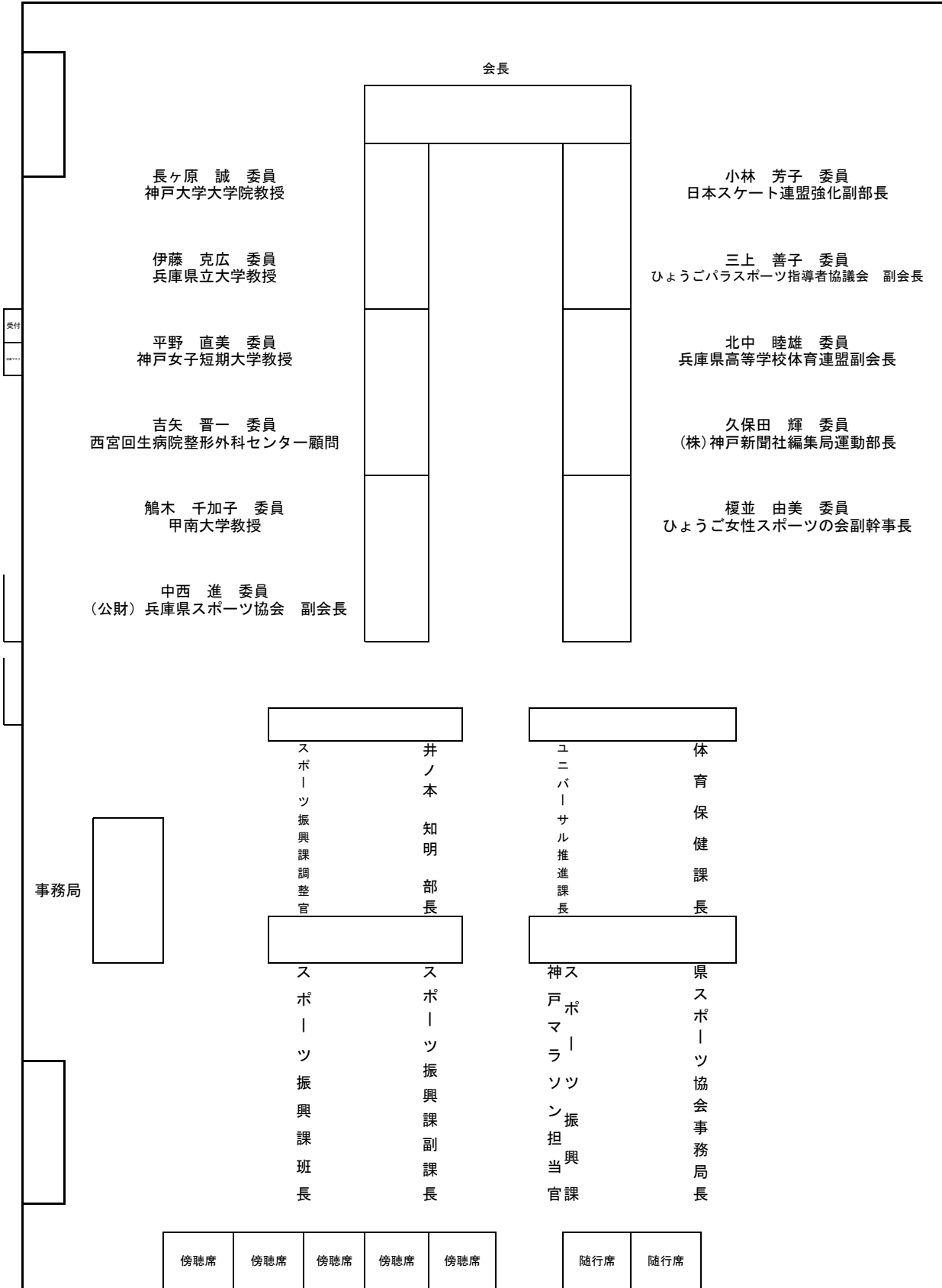
7 その他

8 閉会



令和5年度第1回スポーツ推進審議会 座席図

県民会館「鶴」



兵庫県スポーツ推進審議会委員

(任期：令和5年9月1日～令和7年8月31日)

	分野	氏名	所属・役職名	出欠
1	スポーツ科学	長ヶ原 誠	神戸大学大学院・教授	○
2	スポーツ社会学	伊藤 克広	兵庫県立大学・教授	○
3	食育・栄養学	平野 直美	神戸女子短期大学・教授	○
4	子ども発達学	倉 真智子	神戸松蔭女子学院大学・教授	欠席
5	医科学	吉矢 晋一	西宮回生病院整形外科センター・顧問	○
6	コーチ学	鷗木千加子	甲南大学・教授	○
7	スポーツ 関係団体	中西 進	(公財)兵庫県スポーツ協会・副会長	○
8		恒木 克仁	兵庫県スポーツ推進委員会・会長	欠席
9	競技団体代表	小林 芳子	日本スケート連盟・強化副部長	○
10	障害者スポーツ	三上 善子	ひょうごパラスポーツ指導者協議会・副会長	○
11	学校 スポーツ関係	北中 睦雄	兵庫県高等学校体育連盟・副会長	○
12		角南 寛	兵庫県中学校体育連盟・会長	欠席
13	報道	久保田 輝	神戸新聞社・運動部長	○
14	公募委員	榎並 由美	ひょうご女性スポーツの会・副幹事長	○
15		川原 清美	保護者(スポーツ指導者)	欠席

改正

平成20年3月24日条例第30号

平成23年10月7日条例第41号

令和5年3月22日条例第24号

兵庫県スポーツ振興審議会条例をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号。以下「法」という。）第31条の規定に基づき、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 法第10条第1項の規定によるスポーツ推進計画の策定に関する事項
- (2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関する重要事項

(定数)

第3条 委員の定数は、15人とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第5条 この条例に定めるもののほか、審議会に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条第42号の次に次の1号を加える。

(42)の2 スポーツ振興審議会

改正

平成20年3月24日条例第30号

平成23年10月7日条例第41号

令和5年3月22日条例第24号

兵庫県スポーツ振興審議会条例をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会条例

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号。以下「法」という。）第31条の規定に基づき、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 法第10条第1項の規定によるスポーツ推進計画の策定に関する事項
- (2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項
- (3) 前2号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関する重要事項

(定数)

第3条 委員の定数は、15人とする。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(補則)

第5条 この条例に定めるもののほか、審議会に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条第42号の次に次の1号を加える。

(42)の2 スポーツ振興審議会

別表第1 地方産業教育審議会の項の次に次の1項を加える。

スポーツ振興審議会	委員	日額	1,200円
-----------	----	----	--------

別表第2 地方産業教育審議会の委員の項の次に次の1項を加える。

スポーツ振興審議会の委員	職員旅費条例中2等級の職務にある者相当額
--------------	----------------------

附 則（平成20年3月24日条例第30号）

この条例は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成23年10月7日条例第41号）

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（附属機関設置条例の一部改正）

2 附属機関設置条例（昭和36年兵庫県条例第20号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

（委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）

3 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

（次のよう略）

附 則（令和5年3月22日条例第24号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例（昭和37年兵庫県条例第21号）第5条の規定に基づき、同条例に定めるもののほか、兵庫県スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(委員)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから、知事が委嘱する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係団体を代表する者
- (3) その他知事が必要と認めた者

2 委員は、再任されることができる。

(会長)

第3条 審議会に、会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

○ 報告事項(1)

令和4年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会の議事録の報告

令和4年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 令和5年3月3日(金) 10:30~12:00
兵庫県民会館 「鶴」
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3
- 2 出席者
(委員9名) 山口委員 長ヶ原委員 倉委員 鳩木委員
恒木委員 三上委員 山根委員 陳委員(リモートで出席)
榎並委員
(幹事3名) 渡邊主幹(ユニバーサル推進課長代理)
北中幹事(体育保健課長)
田中幹事(スポーツ振興課長)
(陪席2名) 八瀬兵庫県スポーツ協会事務局長
織邊スポーツ振興課マラソン担当官
(教育委員会) 稲次教育次長
(事務局) 土井副課長 柏木主幹
榎木指導主事 蓬野指導主事
- 3 開会あいさつ 稲次教育次長
- 4 委員・幹事紹介 出席者名簿にて紹介
- 5 会長あいさつ 山口会長
- 6 署名委員の指名 署名委員は、鳩木委員、恒木委員に決定
- 7 前回議事録の報告 事務局より説明し、承認
- 8 審議事項
(1) 令和5年度スポーツ振興団体に交付する補助金について
スポーツ振興課副課長が説明した。
- 9 報告事項
(1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画の令和5年度実施計画について
以下の3点についてスポーツ振興課長から説明した。
① 令和4年度の実績と成果、令和5年度の実績について
② 第2期兵庫県スポーツ推進計画の達成状況について
③ 実施計画における総括指標と関連指標について
(2) 令和5年度の主要事業について
① スポーツ振興課に関する主要事業について、スポーツ振興課長が説明した。
② 神戸マラソンについて、スポーツ振興課マラソン担当官が説明した。
③ 体育保健課に関する主要事業について、体育保健課長が説明した。
④ ユニバーサル推進課に関する主要事業について、ユニバーサル推進課長代理が説明した。

(3) スポーツ行政の移管について
スポーツ振興課長が説明した。

■ 委員の主な意見及び事務局の説明

＜令和5年度スポーツ振興団体に交付する補助金について＞

【鶴木委員】

- 県の予算の情勢が非常に厳しいのは理解しているが、競技スポーツ振興事業だけ非常に多くの減額になっていることについて伺いたい。

【事務局】

- 事業の予算が2億なので、割合にするとそれほど大きな減額ではないと考えている。県は常に事業を見直して予算編成をしており、事務の効率化など競技団体には影響が出ないような見直しを進めて、480万は削減できると考えている。

【山口会長】

- 特別国民大会の特別とはどういう意味なのか。また、近畿ブロック大会の開催で令和5年度は3,500万円となっている。これまで全くなかったのか、昨年だけなかったのか。

【事務局】

- 2年前に鹿児島国民体育大会が予定されていたが、延期となり特別国民体育大会という名称になっている。また、近畿ブロック大会は持ち回りで、来年度の開催地が兵庫県となっている。昨年度は京都府開催だったので、補助金はなかった。

【山根委員】

- はばタンスポーツ基金について、今回から新たに複数年度の支援をするとあるが、その大会は既に行われている大会も対象になるのか。

【事務局】

- 過去に実績のある大会でも、今後、聖地化に向けて開催する大会については認める方向で、現在要項を変更している。

【山口会長】

- ふれあいスポーツ交流館は、神戸市西区にあると思っていたが、西播磨のどの地域にあるのか。

【渡邊主幹（ユニバーサル推進課）】

- 播磨科学公園都市の中に西播磨総合リハビリテーションセンターがある。そこに西播磨特別支援学校の体育館やプールがあり、高齢者や障害者の方がスポーツできる「ふれあいスポーツ交流館」がある。

【三上委員】

- 西播磨総合リハビリテーションセンターの令和4年度のスポーツ事業では、広い道を使ったタンDEM体験なども行ったが、令和5年度の補助金を増額した計画について教えていただきたい。

【渡邊主幹（ユニバーサル推進課）】

- 令和5年度からはコロナの影響が少なくなることから、コロナ以前の水準まで引き上げた。引き続き、プールを使用したカヌーの練習など、特色を生かしたスポーツ事業を振興していく。

【三上委員】

- カヌーの人口が減ってきているので、この事業で参加者や体験者が増えると喜ばしい。

【山口会長】

- タンDEMなどを開催するには、しあわせの村は公道なので使用することが難しいと聞いたことがあるが、西播磨はどこでタンDEMをしているのか。

【三上委員】

- 日本パラスポーツ協会からの補助金の委託を受けて、3カ所でタンDEMを行った。加古川の河川敷の防災道路でも行っている。申請が大変だったと聞いているが、西播磨の公道でも行っている。

【渡邊主幹（ユニバーサル推進課）】

- 現在、警察の規制はあるが、タンDEMサイクリングについては、全都道府県で公道を走行できる状況にある。西播磨についても私有地だけではなく、西播磨リハビリテーション内の公道でサイクリングの体験会を実施した。

【三上委員】

- 公道を走行するのは危険が伴う。今回の西播磨の公道を使用する際も、警察の規制や厳しいチェックがあったということ、会長から聞いている。

【山口会長】

- 加古川の河川敷は全国で唯一マラソン専用であり、防災公園までの往復コースは車が入ってこない、タンデムのメッカになれる。しかし、公道でできるようになれば、ユニバーサルデザイン化が進むので、これからの方向性だと考える。

⇒ 令和5年度スポーツ振興団体に対する補助金について、承認

＜第2期兵庫県スポーツ推進計画の令和5年度実施計画について＞

【長ヶ原委員】

- 成人のスポーツ実施率について、女性が飛躍的に伸びた要因を伺いたい。このような成功事例から、次の事業展開ができることにつながる。

【事務局】

- 夜に女性が複数でウォーキングする姿をよく見かけるようになった。今年はイオンモールの広場を使ってスポーツ体験会を開催した。引き続きこのような事業を進めていきたい。

【山口会長】

- イオンモールに出前で出て行くのは、ターゲットが違うところにアプローチをかけていくということになると思うので、良い取組である。

【榎並委員】

- 来年度は、京都女性スポーツの会との交流も計画している。コロナの中で制限されてきたスポーツではあるが、できることから始めるのが女性スポーツのあり方だと考える。これが競技スポーツにもつながることを願っている。

【山口会長】

- 特徴的なこととして、スポーツや運動を60分以上実施する児童・生徒の目標の達成率で、中2女子が100%。成人のスポーツ実施率の向上で女性が112%。女性指導者の割合の増加も128%と、女性のスポーツへの取組が素晴らしい。

【田中スポーツ振興課長】

- 令和4年度の現状値が、すでに令和5年度の目標値を上回っている指標もあるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあると考えられるため、策定時の数値でもう少し様子をみたい。

【倉委員】

- 優秀なスポーツ選手が輩出される背景には、裾野を広げることが非常に重要だと思う。令和5年度の新規事業として、幼児の運動習慣づくり推進事業を計画されているので、ようやく幼児のほうに着目されてきたとうれしく思う。

【山口会長】

- コロナの影響により、新体カテストの結果が最低状態に落ちているという報告を受けた。岐阜大学のレポートで、この30年間、小学校1年生から小学校6年生の伸び率は変わっていない。問題は小学校1年生になるときの体力が30年前とではかなり下がっていること。そのような意味で幼児の運動習慣づくりは大事なことである。この事業の委員のメンバーは決まっているのか。

【事務局】

- 現在、検討中であり、倉委員に相談している。

【山口会長】

- 豊岡市は鳥取方式でグラウンドの芝生化を採用しており、全幼稚園、小学校も一部採用している。その結果、新体カテストの結果が上がった。転んでも平気なので、走る力がついたという実例がある。豊岡市のスポーツ振興課の方に委員になってもらい、兵庫方式のようなものが広がるようなことを期待したい。

- 陳委員には但馬地区の幼稚園、小学校が鳥取方式を採用していることを取材して、記事にしたい。ただ、影響があると思うのでお願いしたい。

【陳委員】

- 了解した。いろいろ見て回ってみたいと思う。

【鶴木委員】

- Team HYOGO アスリートキャリアフォーラムへ参加する企業の増加で、20社とあるが新しくどのような企業が参加されたのか。また、成果やマッチングがうまくいったケースがあるのか。

【八瀬スポーツ協会事務局長】

- 女子ラグビーでは、早駒運輸。陸上では籠谷株式会社に参加いただいた。社員として雇用し、選手を育成する。そして指導者を養成する体制を取っている企業に依頼しており、大学生が安心して、働きながらスポーツができる企業を紹介できるような取組を行っている。また、対象が大学3年生ということで、すぐに就職ということは難しいが、去年の参加者で2名がマッチングし就職している。さらに2名が内定をもらい、4月から就職するといった実績がある。

【山口会長】

- 神戸商工会議所に神戸スポーツ産業懇談定例会の時に神戸新聞運動部が持ち込んでこられたアスリートのマッチングがあったと思う。籠谷の陸上競技部やコーチの方も参加していた。神戸新聞もサポートしていたように思う。

【陳委員】

- 陸上担当の記者が選手と話をし、地元で就職したいという声を聞き、籠谷の幹部の方と話をし、最初に3名が採用されてスタートした。今年度も何人が採用されており、実業団選手権の団体で上位に入賞したことから、社名の宣伝にもつながっている。相乗効果も出ており、いい例になっている。

【山口会長】

- 籠谷は、東播地区の中学生に対して、陸上競技教室を実施するなど良い取組である。また、早駒運輸も令和4年度に関西スポーツ応援企業表彰を受賞された。女子ラグビーのワールドカップの日本代表として何名か選出され、成果が出ている。

<令和4年度の主要事業について>

(1) スポーツ振興課

【鶴木委員】

- 競技団体の提案型による選手の発掘から育成強化に対して補助することは、大変よい取組である。一方で、競技団体任せになることで、早期の種目固定につながるような問題もある。アカデミックベースでは、そういったことを防ぐ流れになっているので、競技団体に対してのサポートや指導をお願いしたい。

【長ヶ原委員】

- コンソーシアム地域スポーツ活性化支援事業は姫路だけが行っている。目標の18市町は、非常に時間がかかると思う。素地があると見込んでの数値なのか伺いたい。

【事務局】

- この事業は4年度からの新規事業だが、市町が予算化しないとできない事業である。5年度以降については、4年度当初より市町へ周知しているため、増えることを期待している。市町の様々な関係団体に集ってもらい、一緒に事業を行って欲しいという趣旨なのでこの数値を達成できるように取り組む。

【長ヶ原委員】

- コンソーシアムというのは非常にインパクトがあって、組織として少し高いレベルになるので、構える方も多い。組織ありきではなく、何をやるかというハードルを下げる必要がある。また、姫路はスポーツビジネスコンテストを実施している。こういったイベントを増やして、姫路市の例をベースに発展していくことできる。

【山口会長】

- 姫路市が、最初にコンソーシアムを作って走りだそうとしている。

【恒木委員】

- スポーツ推進委員やスポーツクラブ 21 では老人クラブなどが姫路市全体でグランドゴルフを行っている。かなりの数のイベントを行っているが、コンソーシアムという身構えて拒否される状況である。

(2) 体育保健課

【山口会長】

- コンソーシアムに、部活動の地域移行というテーマが入れば、中体連や地域、保護者が関係してくる。姫路市が進んでおり、神姫バスの子会社が参入するなど、新しい運動部活動指導士の要請も見えてくる。このテーマが入れば、関心が高まってくる。

【三上委員】

- 特別支援学校の子どもたちは、どのように地域移行に参加できるのか。このことについての施策や、情報があればいただきたい。

【北中体育保健課長】

- 特別支援学校に対する対策や情報は現在は入手していない。高等学校は地域移行の対象から外れている。特別支援学校は1つの学校の中で小・中・高と発育発達段階で層があるので、整合性を取ることも今後の議論になってくる。茨城県では、中学校教員も高等学校の教員も、兼職兼業で指導することになるようである。今後、特別支援学校が、土日にどれだけ活動しているかというデータも含めて、検討する。

【三上委員】

- 毎年行われているのじぎく大会で、特別支援学校の参加者が非常に減っていると聞いている。もっと子ども達が活躍できる場所を提供してもらえようような情報発信をお願いしたい。

【山口会長】

- 部活動の地域移行についての情報が、学校まで詳しい情報が入っていない。情報提供がうまくいけば、理解も変わってくると思われる。

(3) スポーツ行政の移管について

【山口会長】

- スポーツ基本法第7条が重要になってくる。国、独立行政法人、地方公共団体、スポーツ団体、学校、民間事業者等が、スポーツ基本法の理念を連携協働して進めることが大切である。文化とスポーツは非常に整合性が高いので、そのような意味でも新たな取組ができると思われる。

10 山口会長 あいさつ

11 閉会

【署名委員】

恒木克仁

鷗木千加子

○ 報告事項(2)

第2期兵庫県スポーツ推進計画 令和5年度実施計画について

○ 報告事項(3)

令和5年度の主要事業について

スポーツ振興課

「する・みる・ささえる」スポーツ環境づくりの推進

競技スポーツ・生涯スポーツの推進

ジュニア期からトップレベルまでの一貫した指導体制による競技スポーツレベルの向上、スポーツクラブ21ひょうご等を通じた子どもから高齢者までの世代を超えた交流を含む人生100年を通じて親しむスポーツの推進を図る。また、健康増進、共生社会の実現、経済・地域の活性化等、スポーツを通じた活力ある社会づくりを図る。

1 第2期兵庫県スポーツ推進計画（スポーツ振興課）

「第2期兵庫県スポーツ推進計画」（令和4年3月策定）に基づき、「する・みる・ささえる」スポーツへの参画を通じて、「躍動する兵庫」の実現をめざし、子ども・ユーススポーツ、生涯スポーツ、競技スポーツ、障害者スポーツの推進に取り組む。

2 地域スポーツ活性化支援事業（スポーツ振興課）

2,000千円

県民全体のスポーツ実施率向上を図るため、市町単位でコンソーシアムの設置を促進し、スポーツイベント開催に要する経費を支援する。

(1) 補助対象 市町で設置されたコンソーシアム

コンソーシアム = 市町内の行政を含む、スポーツ団体、大学、民間事業者など複数の団体から成る共同事業体

(2) 補助金額 100千円

(3) 補助率 経費の1/2 ※県：市町＝1：1

(4) イベント例 親子等でスポーツ体験会、種目別選手権大会 等

3 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業（スポーツ振興課）2,929千円【勤労者福祉基金】

「スポーツクラブ21ひょうご」（以下SC21）について、スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等と自主自立に向けた取組を支援し、「スポーツ立県ひょうご」の実現に取り組む。

(1) 推進会議の開催

・内容 「スポーツ立県ひょうご」の実現に向けた課題共有・情報交換

(2) 全県スポーツサミットの開催

・対象 SC21代表者、市町体育・スポーツ協会代表者、市町行政代表者、地域スポーツ関係者 等

・内容 情報交流、事例発表 等

- (3) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト SC21 が各地域で、だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりを創出
- ・親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催
 - ・第2期兵庫県スポーツ推進計画の趣旨に則ったスポーツイベント等の開催
 - ・全県スポーツ大会の予選会、種目大会、スポーツ教室、ニュースポーツ体験イベント、地区クラブサミット等の開催

4 ひょうご女性スポーツの会の活動支援（スポーツ振興課）	4,300 千円
------------------------------	----------

女性のスポーツ環境の向上、女性指導者の育成、女性スポーツ人口の増加をめざし、女性の競技別大会の開催や競技の枠を越えた研修会に取り組むひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。

- (1) 総会・総合開会式 記念講演及び競技別大会総合開会式の開催
- (2) 競技別大会 各競技団体による冠称大会の開催
- (3) 研修会等
- (4) スポーツ参画促進イベントの開催

5 幼児の運動習慣づくり推進事業	400 千円
------------------	--------

運動・スポーツが好きな子どもの増加を図るため、幼児期からの運動習慣の基盤づくりに取り組み、今年度、専門家による推進会議を設置し、課題等の分析を実施するとともに、保護者等への普及・啓発の方策を検討する。

6 競技スポーツ振興事業（スポーツ振興課）	198,317 千円
-----------------------	------------

競技団体との連携のもと、兵庫ゆかりの元トップアスリートやプロチーム等を活用した国体選手等の強化や、次世代を担うジュニアアスリートの育成、子どもの運動・スポーツ機会創出等に取り組み、トップアスリート層の拡大を目指す。また、これらの活動を支援する指導者の養成にも取り組む。

7 神戸マラソン 2023 の開催（スポーツ振興課）	68,883 千円
----------------------------	-----------

ランニングを核とした県民スポーツの振興を図り、阪神・淡路大震災の復旧・復興における経験や教訓、兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、「神戸マラソン 2023」を開催する。

- (1) 開催日 令和5年11月19日(日)
(11月17日(金)・18日(土)ランナー受付及びマラソン EXPO)
- (2) コース スタート(神戸市役所前)～折り返し(明石海峡大橋の西方(垂水区西舞子))～フィニッシュ(ポートアイランド(市民広場付近))
- (3) テーマ 「感謝と友情」
- (4) 出走者数 約2万人 (応募者数 36,567人 うち海外在住応募者数 550人)

8 スポーツ大会招致事業（スポーツ振興課） 6,000 千円【はばタンスポーツ基金】

質の高い競技や演技を観戦する機会を県民に提供するため、のじぎく国体・大会を契機に設置した「はばタンスポーツ基金」を活用し、全国、国際規模の大会等を招致する。

- ・ 助成対象 （公財）兵庫県スポーツ協会及び JSPQ、JOC に加盟する団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等（アーバンスポーツ（スケートボード、BMX 等）を新たに助成対象とする）
- ・ 助 成 額 会場借上費を基準として規模に応じた定額助成（1大会上限 100 万円）

9 関西マスターズゲームズ in HYOGO の開催事業（スポーツ振興課） 6,072 千円

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西を機に醸成してきたスポーツ機運を継続し、さらにすそ野を広げるため関西マスターズゲームズ in HYOGO を開催する。

(1) 総合開会式の実施

- ・ 開 催 日 令和5年5月27日（土）
- ・ 場 所 ブルボンビーンズドーム
- ・ 参加者数 150 名

(2) 県民ふれあい大会の開催

- ・ 開 催 日 令和5年11月26日（日）
- ・ 場 所 しあわせの村
- ・ 種 目 インディアカ等 計 40 種目（予定）

(3) 競技別大会「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の開催

- ・ 時 期 令和5年4月～令和6年3月
- ・ 場 所 県内各市町
- ・ 種 目 グラウンド・ゴルフ等 計 40 種目（予定）

10 ワールドマスターズゲームズの開催準備（スポーツ振興課） 4,964 千円

再延期となったワールドマスターズゲームズ（WMG）について、既存の競技大会に「WMG」の冠を付けて開催し、引き続き大会機運の維持や醸成に取り組む。

■ 「ワールドマスターズゲームズ」の概要

- (1) 主 催 （公財）ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会
- (2) 共 催 （公財）日本スポーツ協会、（公財）日本パラスポーツ協会
- (3) 開催時期 2027 年 5 月
- (4) 開催場所 兵庫県を含む関西地域
- (5) 開催競技 公式競技 35 競技 59 種目（うち兵庫県開催 11 競技 14 種目）
- (6) 参 加 者 目標 5 万人（国内 3 万人、国外 2 万人）（概ね 30 歳以上）

体育保健課

「健やかな体」の育成

体力・運動能力向上の推進

全国体力・運動能力調査等の結果を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上を図り、人生100年を通じて継続して運動に取り組むことができる資質・能力の育成を図る。また、運動部活動については、適切な休養等による安全の確保、生徒の自主性の尊重、責任感・連帯感の涵養等に留意しつつ、指導の質的向上を図る。

(1) 「体力アップひょうご」サポート事業（体育保健課） 4,462千円

小学生の体力・運動能力の向上に取り組むため、地域の指導者等を活用し、運動への興味・関心を高め、運動習慣の定着等に繋げるとともに、県内児童生徒の体力・運動能力の調査・分析を実施する。

- ① 「体力アップサポート専門家会議」の設置（年3回）
 - ・ 内容 体力・運動能力の現状及び課題の分析・検討 等
- ② 体力アップサポーターの派遣
 - ・ 派遣校数 81校
 - ・ 派遣者 公立中学校・高等学校の保健体育科教員、民間スポーツクラブの指導者、地域の外部指導者 等
 - ・ 派遣回数 1校あたり12回
 - ・ 内容 体育授業及び学校体育活動における専門的な指導
新体力テスト測定項目（8項目）に関する事前指導（握力、上体起こし、反復横とび等）新体力テスト測定項目の児童への指導及び教員の測定支援
- ③ 「体力アップスクール表彰」の実施 体力向上に積極的に取り組み、成果を上げた公立小・中学校を表彰
- ④ 兵庫県体力・運動能力調査（公立小・中・高等学校）の実施

(2) 中学校部活動指導員配置事業（体育保健・義務教育課） 30,242千円【一部国庫】

公立中学校の部活動指導を担当する教員の業務負担軽減や、専門的な技術指導を受けられない生徒への指導のため、部活動指導員を配置する。

- ・ 業務内容 部活動の顧問として、単独での指導や大会引率 等
- ・ 配置市町 31市町組合
- ・ 負担割合 国1/3、県1/3、市町1/3

(3) 県立学校部活動指導員配置事業（体育保健課） 14,577 千円

県立学校の部活動指導を担当する教員の業務負担軽減や、専門的な技術指導を受けられない生徒への指導のため、部活動指導員を配置する。

- ・ 業務内容 部活動の顧問として、単独での指導や大会引率 等
- ・ 配置人数 55 人/年
- ・ 指導回数 70 回/年（週 2 回：平日 1 回、休日 1 回）

(4) 中学校運動部活動の地域移行検討事業（体育保健課） 20,618 千円【国庫】

県下 40 市町における休日の中学校の部活動の段階的な地域移行に向け、国が定める以下の実証事業取組項目について実証事業を実施する。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①体制整備※ | ②指導者の質の保障・量の確保※ |
| ③関係団体・分野との連携強化※ | ④面的・広域的な取組 |
| ⑤内容の充実 | ⑥参加費用負担支援等※ |
| ⑦学校施設の活用等 | (※実証事業取組必須事項) |

(1) 県の取組

①部活動地域移行推進会議の実施

構成員：運動部・文化部有識者、関係団体代表、行政

回数：年 3 回（6 月・10 月・2 月）

内容：各市町における課題解決に向けた支援策の検討

- ・ 関係団体との連絡調整
- ・ 運営団体と実施主体の体制整備
- ・ 県のガイドラインの策定

②連絡協議会の実施

構成員：県教育委員会事務局担当課、各教育事務所担当者、各市町組合担当者

回数：年 6 回（各教育事務所 1 回）

内容：広域的な連携に向け、各教育事務所単位で地域の実情に応じた課題の共有

- ・ 運営団体の発掘や人材確保等の情報共有
- ・ 実証事業の成果や課題等の共有
- ・ 地域の実情に応じた支援要望等のヒアリング

(2) 市町の取組

各市町の実情に応じた実証事業を実施し、課題等を検証する。

【運動部】 県内 10 市町

（尼崎市、伊丹市、三田市、猪名川町、丹波篠山市、高砂市、稲美町、播磨町、多可町、姫路市）

【文化部】 県内 4 市町

（尼崎市、加古川町、稲美町、播磨町）

ユニバーサル推進課

障害者のスポーツ活動等の推進

障害者スポーツの振興

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の実施等により、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者の社会参加と県民の障害者への理解を促進する。

(1) 第17回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催 (5,023千円)

<令和5年度開催結果>

開催日	競技	対象	会場
5月4日(木祝)	陸上競技、フライングディスク	車いす	エバー記念競技場
5月12日(金)	卓球	精	県立障害者スポーツ交流館
5月13日(土)	卓球	身・知	県立障害者スポーツ交流館
5月14日(土)	水泳	身・知	三木山総合公園屋内プール
5月19日(金)	バレー	精	県立障害者スポーツ交流館
5月20日(土)	バレー	知	県立障害者スポーツ交流館
5月20日(土)	バスケットボール	知	県立障害者スポーツ交流館
5月20日(土)	ボウリング	知	神戸六甲ホール
5月21日(日)	ボッチャ	身	県立障害者スポーツ交流館
5月27日(土)	陸上競技	身・知	県立三木総合防災公園 県立三木総合防災公園 県立三木総合防災公園 県立三木総合防災公園
	フライングディスク	身・知・精	
	ソフトボール	知	
	サッカー	知	
5月28日(日)	サウンドテーブルテニス	精	県立障害者スポーツ交流館

(2) 特別全国障害者スポーツ大会への選手派遣・育成 (20,450千円)

鹿児島県で開催される特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため、育成強化を図る。

<大会期間> 令和5年10月28日(土)～30日(月) 3日間

<開催場所> 鹿児島県鹿児島市 ほか

<派遣人数> 125人(予定) 選手72人/コーチ・介護人等 53人

(3) 兵庫ユニバーサルマラソン2024 開催事業 (1,009千円)

県立公園等を使用し、車いすロードレース及び障害の有無に関わらず参加できるユニバーサルリレーを開催する。

<開催日・場所> 令和6年3月(予定)・尼崎の森中央緑地

(4) 「パラスポーツ拡大推進プロジェクト」の実施 (38,856 千円)

障害の有無に関わらず、すべての人が参画し、ともに競技ができるスポーツの振興を推進し、障害のある方の社会参加促進とともに、パラアスリートの育成を図る。

ア パラスポーツ普及推進事業

- ・パラスポーツ出前講座の実施
- ・パラスポーツ普及拡大
パラアスリートとの交流（パラアスリートによる講演、競技指導等）
パラスポーツ体験会の実施（特別支援学校及び小中学校生徒対象）

イ パラアスリート発掘・育成事業

- ・マルチサポート事業
専門的技術指導や栄養学講座など、多面的な支援を実施
ジュニア向けプログラムの実施（スポーツ用具を購入し、スポーツ初心者が用具購入負担等なく参加できる環境を整備）

ウ パラスポーツ実施環境の整備事業

- ・競技団体運営・設立支援
- ・障害者スポーツ推進拠点整備

(5) 県立障害者スポーツ交流館等の運営 (36,642 千円)

障害者スポーツの振興拠点として「県立障害者スポーツ交流館」及び「ふれあいスポーツ交流館」を運営する。

ア 県立障害者スポーツ交流館

- ＜設置場所＞ 県立総合リハビリテーションセンター内
- ＜施設内容＞ 体育室（バスケットコート2面）、トレーニングルーム
更衣室、屋内駐車場

イ ふれあいスポーツ交流館

- ＜設置場所＞ 県立西播磨総合リハビリテーションセンター内
- ＜施設内容＞ 体育室（バスケットコート2面）、温水プール、トレーニングルーム、更衣室

(6) 障害者スポーツ振興のあり方検討 (1,000 千円)

スポーツ行政全体のあり方検討の一環として、今後の障害者スポーツ振興に向けた基本的な方向性等に加え、障害者スポーツ施設のあり方についても検討する。

(7) 「はばタンスポーツ基金」事業の実施 (2,100 千円)

のじぎく兵庫国体・のじぎく兵庫大会を記念して造成された「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、県内各地で開催される障害者スポーツイベントへの支援を実施する。

(8) 障害児(者)スポーツ等応援プロジェクト事業（ふるさとひょうご寄附金活用）
の実施 (2,500 千円)

①障害児入所施設に助成を行い、スポーツ競技用具の購入や、レクリエーション活動にかかる経費を支援する

②県立スポーツ施設等に設置する障害者スポーツ用具の購入や、将来のトップアスリートをめざす若年障害者の用具購入の支援を行う。

○ 報告事項(4)

令和5年度スポーツ振興団体に交付する補助金の状況について

令和５年度スポーツ振興団体に交付する補助金の状況について

〔根拠〕 スポーツ基本法（平成 23 年法律第 78 号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会（特定地方公共団体におけるスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）に係る補助金の交付については、その長）がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かなければならない。

兵庫県スポーツ推進審議会条例（令和 5 年 3 月 22 日条例第 24 号）

第 2 条 審議会は、知事の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第 35 条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項

(千円)

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助 率	R 4 補助 金額	R 5 補助 金額	増減額	所管課
1	公益財団法人 兵庫県ス ポーツ協 会	公益財団法人兵庫県スポーツ協会運営費補助 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発 育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本 県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚 及び福祉の増進に寄与することを目的とす る当該協会に対し、運営費の一部を補助す る。	定 額	46,581	60,001	13,420	スホ [°] ー ツ 振興課
2	公益財団法人 兵庫県ス ポーツ協 会	競技スポーツ振興事業 第 2 期兵庫県スポーツ推進計画の基本理 念のもと、県内スポーツ団体(プロスポーツ 団体等)の有する人的財産(トップアスリ ートやトップコーチ等)を活用して国体選手等 の競技力強化を図るほか、子どもの運動・ス ポーツが好きになる機会の創出を推進し、競 技者のすそ野拡大を図ることによって中・長 期的な競技力向上に取り組み、次世代を担う ジュニアアスリートを育成し、トップアスリ ート層の拡大を図る。 また、競技団体の提案型による選手の発掘 から育成・強化に対して補助することで、次 回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆ かりのトップアスリートの輩出をめざす。	定 額	203,185	198,317	△4,868	スホ [°] ー ツ 振興課

	スポーツ 振興団体名	事業名・事業概要	補助 率	R 4 補助 金額	R 5 補助 金額	増減額	所管課
3	公益財団法人 兵庫県スポー ツ協会	<p>国民体育大会兵庫県選手団派遣事業</p> <p>国民体育大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。</p> <p>【特別国民体育大会】 鹿児島県 (冬季) 青森県・岩手県</p> <p>①特別国民体育大会本大会 (令和5年10月7日～10月17日)</p> <p>②特別国民体育大会冬季大会 (スケート・アイスホッケー・スキー: 令和5年1月～2月)</p>	定額	50,655	54,284	3,629	スポーツ 振興課
4	特別国民体育 大会・第78回 (第78回冬 季) 国民スポ ーツ大会近畿 ブロック大会 兵庫県実行委 員会(兵庫県 スポーツ協会 内)	<p>特別国民体育大会・第78回(第78回冬季)</p> <p>国民スポーツ大会近畿ブロック大会開催費</p> <p>国民体育(スポーツ)大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会が兵庫県で開催されることからその開催費を補助するとともに、近畿地区住民のスポーツに対する関心を深め、スポーツ活動の促進を図る。</p>	定額	0	35,000	35,000	スポーツ 振興課
5	公益財団法人 兵庫県スポー ツ協会加盟団 体等	<p>スポーツ大会招致事業(「はばタンスポーツ基金」活用事業)</p> <p>「のじぎく兵庫国体」「のじぎく兵庫大会」の余剰金により創設した「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、全国規模の大会を誘致することにより、本県選手の競技力向上に資するとともに、県民に質の高い競技を観戦する機会を提供する。</p> <p>・助成対象 本県競技団体(公財)兵庫県スポーツ協会及びJSP0、JOCに加盟する団体が主催または主管する国際大会や全国規模の競技大会等</p> <p>(アーバンスポーツを新たに助成対象とする)</p>	定額	6,000	6,000	0	スポーツ 振興課

6	ひょうご女性 スポーツの会	「ひょうご女性スポーツの会」運営費補助 「女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツ人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会の活動を支援 ①総会・総合開会式の開催 ②競技別大会の実施 ③女性スポーツ参画イベントの実施 ④研修会の実施	定額	4,500	4,300	△200	スポーツ 振興課
		計	310,921	357,902	46,981		

○ 報告事項(5)

HYOGO スポーツ新展開検討委員会について

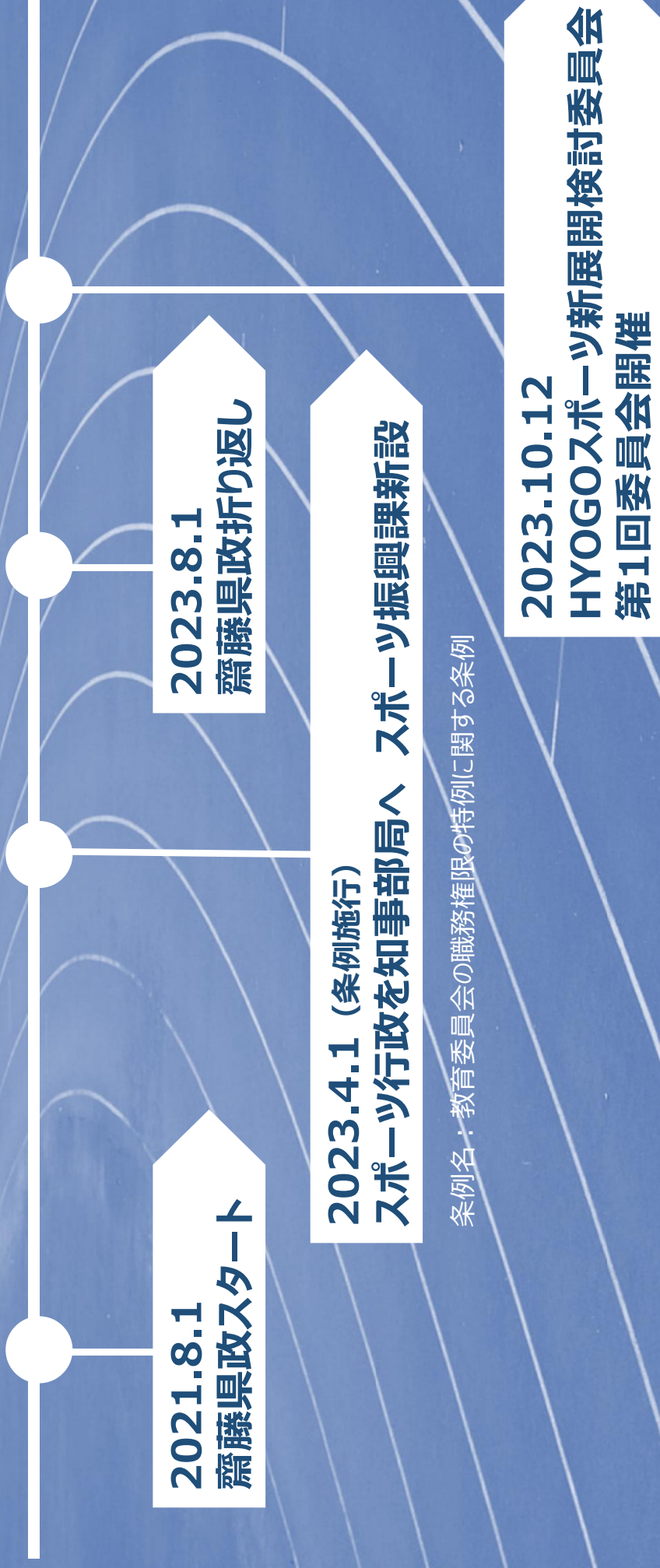


HYOGOスポーツ新展開検討委員会

第1回委員会資料

2023年10月12日

兵庫県



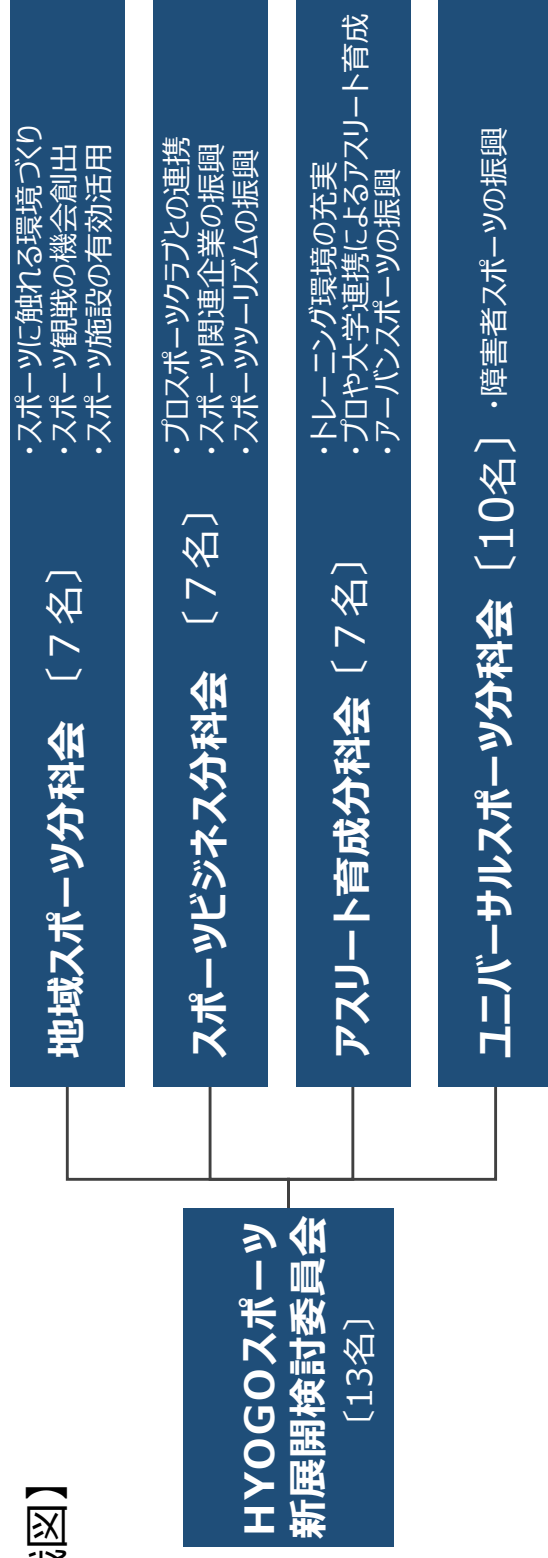
条例名：教育委員会の職務権限の特例に関する条例

HYOGOスポーツの新たなトビラをひらく

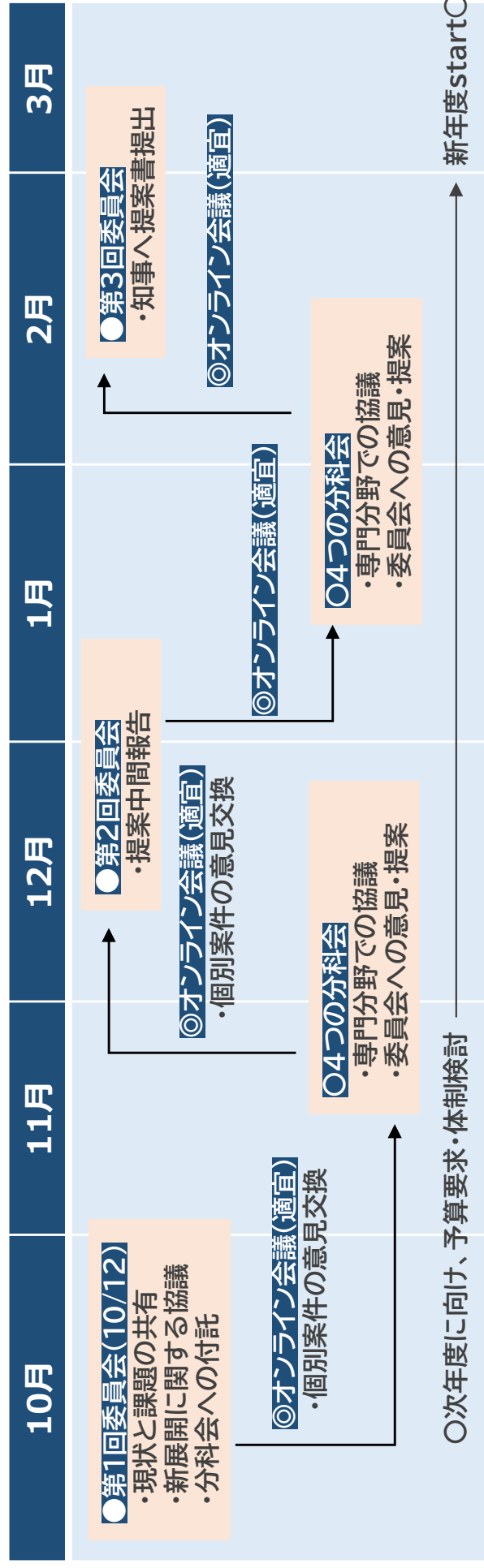
HYOGOスポーツ新展開検討委員会

- 【目的】 ①スポーツが持つ多面的な力を引き出す ②スポーツによって県民生活を豊かにする
 ③スポーツによって兵庫経済を拡大する

【組織図】



【スケジュール】



日時 2023年10月12日（木） 15:00～16:30

場所 兵庫県公館 3階 第1会議室

出席者 齋藤 元彦 兵庫県知事

● 委員メンバー13名 うち出席13名

朝原 宣治 (あさはら のぶはる) 大阪ガスネットワーク株式会社 大阪ガス陸上競技部 副部长

栗井 一夫 (あらい かずお) 株式会社阪神タイガース 代表取締役 副社長

井口 岳洋 (いぐち たけひろ) 株式会社毎日放送 スポーツ局長

小野田 金司 (おのだ きんじ) 大阪観光大学 教授

沢松 奈生子 (さわまつ なおこ) 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ関西組織委員会 評議員

長ヶ原 誠 (ちやうがはら まこと) 公益財団法人吉田記念テニス研修センター 評議員

豊川 聡 (とよかわ さとし) 神戸大学大学院 教授

樋口 浩子 (ひぐち ひろこ) 株式会社神戸新聞社 事業局長

増田 和茂 (ますだ かずしげ) 公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会 理事長

松田 卓巳 (まつだ たくみ) 株式会社アシックス スポーツマーケティング総括部スポーツマーケティング部長

八木 かなえ (やぎ かなえ) 金沢学院大学 助教

柳 久恒 (やなぎ ひさつね) 神戸学院大学 准教授

結城 元紀 (ゆづき もとのり) 株式会社三井住友銀行 執行役員 神戸法人営業本部長

● 事務局

井ノ本 知明 (いのもと ちあき) 事務局長 (兵庫県県民生活部長)

小倉 陽子 (おぐら ようこ) 事務局次長 (兵庫県県民生活部次長)

進行

- (1) 開会
- (2) 知事あいさつ
- (3) 事務局説明
- (4) 意見交換
- (5) 閉会

検討のテーマ

テーマ1

「地域スポーツの環境づくり」

テーマ2

「スポーツ人材育成の拠点“兵庫”の形成」

テーマ3

「スポーツビジネスの拡大」

テーマ4

「ユニバーサルスポーツの振興」

あるべき姿

地域におけるスポーツ環境が整い、多くの人々が地域コミュニティの中でスポーツを楽しむことができる

課題 / ポテンシャル

- 【人】
- ・高校卒業後、運動実施率が急激に低下（その後、50代まで実施率が低い状態が続く）
 - ・少子化や教員の働き方改革で学校部活動の機能が低下
 - ・地域には元アスリート等の潜在的指導者が拡大
- 【場所】
- ・地域クラブは、活動の場となる施設確保が難しい
 - ・都市部と多自然地域ではスポーツ環境に格差
 - ・兵庫のスポーツ施設の約6割は学校の中にあり
 - ・スキマ時間コンビニジムが人気で店舗数が急拡大
- 例：chocoZAP（チョコザップ）
（2022.7：サービス開始→2023.9：全国1,026店舗）

①伊丹北スポーツパーク（事例）

県立伊丹北高生が地域で未就学児・小中学生と一緒にスポーツを体験・指導

【内容】

日程：当面は休日のみ
場所：県立伊丹北高校（学校開放）
種目：ハンドボール、バスケットボール
陸上、野球、空手道



（県立伊丹北高校提供）

②女性の各年代における運動実施率（週1回以上）（2021年）

高校生年代 大学生年代
56.3% 38.6%



17.7ポイント減

「令和3年度体力・運動能力調査」（スポーツ庁）
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/tairyoku/kekka/k_detail/1421920_00005.htmを元に作成

方向性

01 地域スポーツを支える人材育成

- ・プロフェッショナル人材の地域派遣
- ・スポーツ人材の発掘

02 プレイスの確保

- ・学校スポーツ施設の開放
- ・新たなスポーツ施設整備

03 大学・学校等の連携

- ・大学・高等学校等の拠点化

04 スポーツ情報へのアクセス向上

- ・スポーツマッチングサイトの構築



あるべき姿

安心してスポーツに取り組める環境があり、スポーツ志向の人々が兵庫に集まる

課題/ポテンシャル

【経済】 ・アスリートが抱える経済的不安（活動資金不足・セカンドキャリア）

・スポーツ団体や企業等によるアスリート支援の動きあり

【場所】 ・県内には地域毎の推しスポーツ（三木：ゴルフ、伊丹：なぎなた）や全国でも数少ない競技施設（兵庫：カヌー、丹波篠山：ホケー）あり

・サッカー王国“静岡”と比肩するネームバリューは兵庫になし

【人】 ・オリンピック種目になったことが影響してアーバンスポーツの競技人口が増加

①県内のスポーツピックス

【フィギュアスケート】

坂本花織 世界選手権2023優勝

【柔道】

阿部一二三・詩 兄妹

世界選手権2023優勝

【陸上】

田中希実 世界選手権2023

5000m8位入賞

【野球】

報徳学園高校 男子全国2位

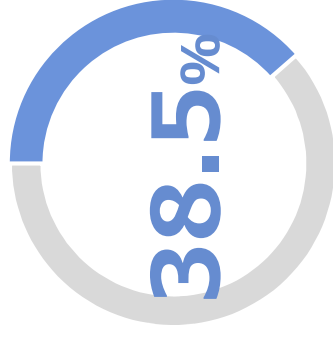
神戸弘陵高校 女子全国優勝

【駅伝】

稲美中学校 全国中学校駅伝優勝

2連覇達成

②若手プロ野球選手が引退後の生活に不安を持っている割合



「2022年現役若手プロ野球選手への「セカンドキャリアに関するアンケート」結果」（一般社団法人日本野球機構）（<https://npb.jp/npb/careersupport2022enq.pdf>）を元に作成

方向性

01 アスリートのサポート

- ・アスリート人材育成拠点整備
- ・指導者（顧問）育成



02 セカンドキャリア

- ・アスリート引退後のキャリア
- ・青年期からのキャリアデザインへの支援

03 新たなスポーツの発展

- ・アーバンスポーツの振興
- ・eスポーツ大会の開催



04 スポーツインテグリティの保護・強化

- ・スポーツ相談所の開設

あるべき姿

スポーツ資源と地域産業が結びつき新たなビジネスが誕生する

課題/ポテンシャル

- 【社会】
 - ・プロスポーツは地域密着型が大きなたrend
例：Jリーグをはじめ、クラブ名から企業名を外し、地域名を入れる
 - ・スタジアム・アリーナ周辺への経済波及効果が限定的
- 【経済】
 - ・成長産業として期待されていたスポーツ産業がコロナ禍により成長が鈍化
 - ・万博やWMGは、兵庫が世界マーケットにつながるチャンス

①ホームの観客動員数（2022年→2023年）

阪神タイガース

ヴィッセル神戸

30万人増（全日程終了時点）

7万人増（ホーム15試合時点）

2023年：291万人

2023年：29万人

2022年：261万人

2022年：22万人

「統計データ」（一般社団法人日本野球機構）（<https://npb.jp/statistics/>）、「試合日程・結果一覧」（ヴィッセル神戸）（<https://www.vissel-kobe.co.jp/>）の情報を元に作成

②日本のスポーツ市場規模 2025年までの目標

2020年

2025年(目標)

8.7兆円

15兆円

株式会社日本政策投資銀行(中)が「スポーツ産業の経済規模推計」（2023年10月）（<https://www.dbj.jp/upload/investigate/docs/7eda40161a1b77248173dc14bea8595c.pdf>）元で作成

方向性

01 スポーツツーリズムの推進

- ・兵庫スポーツコミッションの創設
- ・大型スポーツイベント誘致

02 プロスポーツとの連携

- ・プロスポーツイベントの誘致



03 スポーツビジネス界への人材輩出

- ・スポーツビジネス講座の開設



04 スポーツを支える民間資金の確保

- ・企業や個人からの寄付などの民間資金の確保

あるべき姿

子どもから高齢者、障害者まで、誰もがスポーツを楽しむことができる環境が整い、多様な人々がスポーツでつながる

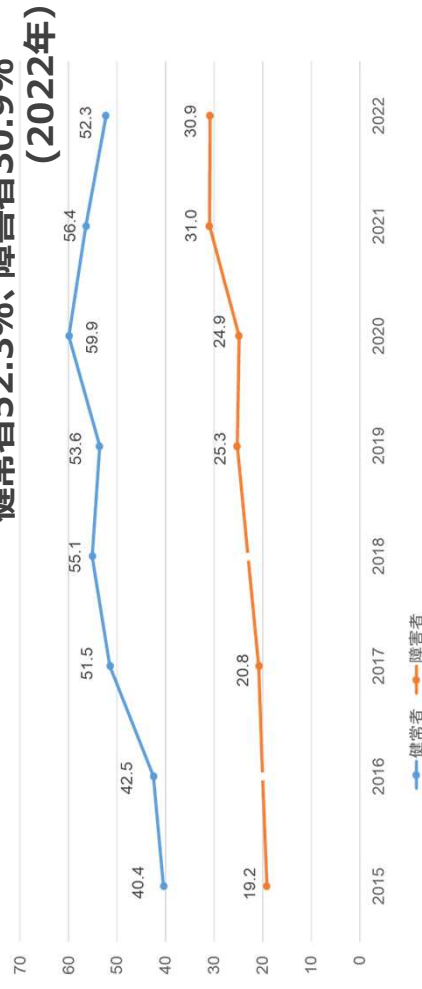
課題/ポテンシャル

- 【人】
 - ・健常者と比べてスポーツ実施率が低い
 - ・障害者スポーツを支えるスタッフの確保が困難
 - ・女性のスポーツ実施率が多くの年代で男性より低い
 - ・東京パラリンピックにより、パラスポーツへの理解が進む
- 【場所】
 - ・車椅子が体育館の床を傷つけるなどで障害者が施設利用を断られるケースあり
 - ・県内に障害者スポーツの応援企業・大学等が89団体ある
- 【社会】
 - ・スポーツと障害者スポーツを別々の部署が所管（都道府県における障害者スポーツ所管 福祉部局：22、スポーツ部局：23、共管：2）
 - ・ポッチャやモルックなど、みんなが楽しめるユニバーサルスポーツ種目が普及

① 健常者と障害者のスポーツ実施率（週1日以上）の差

21.4ポイント

▶ 障害者のスポーツ実施率が、健常者より約20～30ポイント低い
健常者52.3%、障害者30.9%
(2022年)



「令和4年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁) (https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1415963_00008.htm)、「障害児・者のスポーツラフに関する調査研究」(スポーツ庁) (https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1402342_00002.htm) を元に作成

方向性

01 障害者スポーツの推進

- ・誰もが利用できる施設の検討
- ・大会の観戦促進、理解促進

02 ユニバーサルスポーツの創発

- ・誰もが一緒にできる新種目の開発

03 女性スポーツの促進

- ・女性のスポーツしやすい環境づくり
- ・女性スポーツチームの価値向上



HYOGOスポーツ新展開検討委員会 分科会（1）

分野	氏名	所属
学識者	森田 啓之	兵庫教育大学大学院教授
地域スポーツクラブ	井原 一久	(特非) アスロン理事長
	酒井 裕史	コナミスポーツ (株) 地域スポーツ事業部長
	渡部 克栄	(一社) スポーツクラブ神戸デipro代表理事
アーバンスポーツ イベント企画	文平 龍太	(一社) キメラユニオン代表理事
団体	中田 進	SC210ようご全県連絡協議会会長
教育機関	志摩 直樹	兵庫県立学校長協会会長

分野	氏名	所属
プロスポーツ	千布 勇気	楽天ヴェイセル神戸(株)代表取締役社長
	北村 正揮	(株)ストークス代表取締役
	渡辺 真二	早駒運輸(株)代表取締役社長
	立場 定	楽天グループ (株) 地域創生事業共創事業推進部 エリアパートナーシップ推進課ヴァイスニアマネージャー
企業	岩田 茂太	(株)アシックス秘書部渉外チームマネージャー
団体	金井 庸泰	県eスポーツ連合副会長 (有馬温泉御所坊専務)
報道	浜田 育亮	(株)毎日放送総合営業局スポーツビジネス推進部長

名称 スポーツビジネス分科会
検討内容

- ・プロスポーツクラブとの連携
- ・公民連携
- ・スポーツ関連企業の振興
- ・スポーツツーリズムの振興
- ・地域密着型のプロスポーツ経営
- ・持続可能なスポーツイベントの実施
- ・スポーツコミッションでの連携

HYOGOスポーツ新展開検討委員会 分科会（2）

名称 アスリート育成分科会

検討内容

- ・スポーツ好きになる機会の創出
- ・次世代アスリートの発掘・育成
- ・トップアスリートの環境支援
- ・国際大会等の招致
- ・アーバンスポーツ等の普及促進
- ・スポーツのセカンドキャリア
- ・女性スポーツの促進

メンバー

分野	氏名	競技
	井上 香織	元 バレーボール選手
	内野 洋平	BMX選手
	大畑 大介	元 ラグビー選手
アスリート	岡崎 慎司	サッカー選手
	葛城 育郎	元 プロ野球選手
	寺内 健	元 水泳（飛込）選手
	中田 真美	元 新体操選手

名称 ユニバーサルスポーツ分科会

検討内容

- ・障害者スポーツの普及
- ・障害者アスリートの発掘・育成
- ・障害者スポーツ指導者等の養成のあり方
- ・障害者スポーツ拠点施設のあり方
- ・福祉部局にある障害者スポーツ推進体制

メンバー

分野	氏名	所属
パラアスリート	大矢 勇気	車いす陸上選手
	笠本 明里	パラ水泳選手
学識者	青山 将己	流通科学大学専任講師
	樽本 つぐみ	兵庫大学准教授
障害者スポーツ振興団体	増田 和茂	県障害者スポーツ協会理事長
	三上 善子	パラスポーツ指導者協議会副会長
障害者団体	木村 佳史	県身体障害者福祉協会理事長
	新銀 輝子	県精神福祉家族会連合会会長
	齋藤 克己	県知的障害者施設協会副会長
地域拠点	小俵 千智	県特別支援教育諸学校長会会長